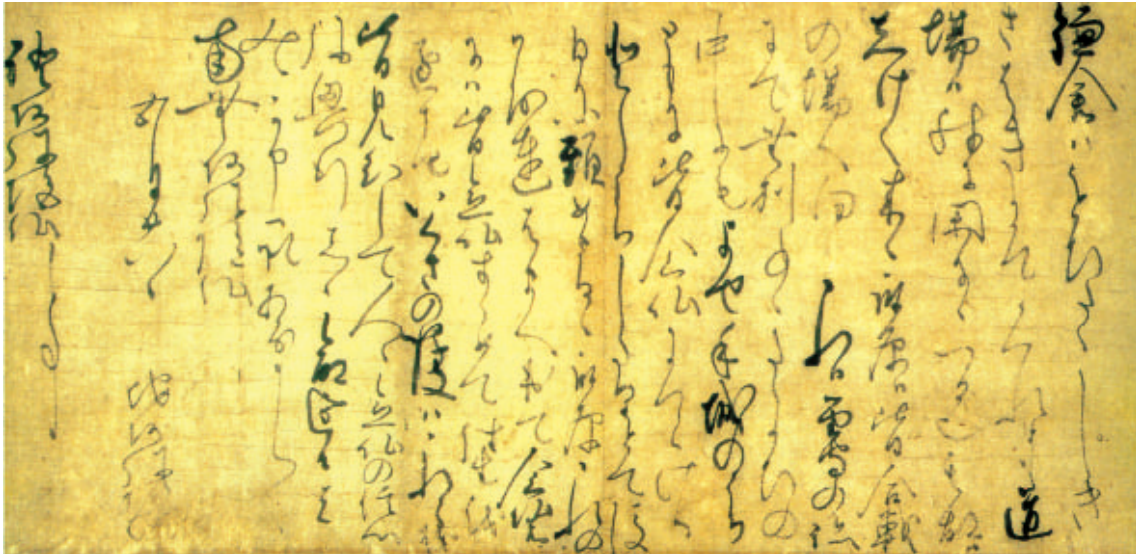


## 5 紙本墨書他阿上人自筆仮名消息



|     |        |           |
|-----|--------|-----------|
| 指 定 | 国重要文化財 | 昭和9年1月30日 |
| 所在地 | 野 沢    |           |
| 所有者 | 金 台 寺  |           |

この書簡は、一遍上人没後に、時宗を継いだ他阿上人が、鎌倉における騒乱の中で、念仏の教化に務める時宗教団活躍の模様を、弟弟子で善光寺の時宗教団妻戸衆の始祖といわれる證阿上人に知らせて来た書簡（手紙）である。

文面は鎌倉に騒動が起こり、武士の大方は出動したため道場は閑散であるが、時宗の僧侶たちが浜に出かけて、処刑者に念仏をすすめて往生を遂げさせた有様など、念仏の信仰がいよいよ盛んになった様子を知らせてきたものである。

書簡の受取人である證阿上人と金台寺（またはその前身）との関係は不明であるが、鎌倉における動乱と、時宗教団本来の面目を示す貴重な史料である。